

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO,43 2021年 9月29日

申7号「現情勢下における東京支社の企業活動に関する申し入れ」支社回答・交渉報告

9月28日、申7号に対する支社回答を受け交渉を行いました。

〈申7号内容と支社回答〉

- 1、営業関係のポスター・パンフレット・チラシの駅別配布・設置枚数を明らかにすること。また配布・設置枚数算出方法を明らかにすること。加えて、費用対効果を考え配布・設置枚数を見直すこと。
状況に応じて必要な枚数を配布しており、引き続き状況を見極めていく考えである。
- 2、法令に定められた教育・研修や安全にかかわる教育・研修以外はその開催を見直すこと。加えて、各種研修などの報告会などはリモートで行うこと。
新型コロナウイルス感染対策を行った上で、引き続き必要な業務を行っていく。
- 3、新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な物資は滞ることなく職場に供給すること。
引き続き、必要な対応を行っていく考えである。
- 4、社員一丸となって今ある難局を乗り越えるために職場におけるコミュニケーションの質を高めること。
引き続き、風通しの良い職場風土を醸成していく考えである。
- 5、各職場において2020年度決算と2021年度経営計画に基づく職場の実行計画に関する「意見交換会(仮)」を開催すること。
必要な周知は行っているところである。

〈交渉で確認した内容〉

- ★各職場に対するポスターやチラシなどは各職場からの希望枚数・部数を配送している。
(昨年の数字がベースになっている)
- ★各職場に対するポスターやチラシなどは各職場からの要請に応じて配布枚数を増減することが出来る。

〈私たちの主な主張(抜粋)〉

- ☆多くの職場でポスターやチラシなどが“山積み”“廃棄”になっている。
- ☆節約を各職場で行っている、ポスターやチラシなどの配布枚数を再検討することを要請する。
- ☆職場では“一方通行”会話が多くなり、会話が成立していないように感じ危惧している。
- ☆タブレットなどを否定はしないが「一方通行」や「たれ流し」に注意して頂きたい。
- ☆社員の声を聞くことを、様々な機会を考えて頂きたい。

〈支社側の主な主張(抜粋)〉

- ★各職場でポスターやチラシなどが“山積み”になっていることは承知している。
- ★各職場でポスターやチラシなどは営業部だけでなく事業部なども関係する、各主管部とも話していく。
- ★「情報提供」などにおいて通信機器、ツール、環境、機会など考えていく。
- ★職場でのコミュニケーションには十分に考慮していく考えである。



「交渉を終えて」……2年続けて赤字にはしないと各職場からの“奮闘”していますがポスター・チラシなどに関しては残念ながら“奮闘”を感じることは出来ませんでした。『情報のたれ流し』や『コミュニケーション』も含め引き続き、改善を求めて論議して行きます。